

事業名	美術館維持管理事業	実施計画事業or一般事業		一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性		SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	会計 科目	一般	事業計画	単年度繰返し	
	課	文化推進課				10	新規or継続	継続事業	
	係	吉澤記念美術館				4	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	231	名称	根拠法令、条例等		7	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業 期間	開始年度	H14	実施方法	直営
	政策	3	歴史・文化を守り育てるまちづくり			終了年度		事業分類	施設維持管理事業
	施策	1	文化芸術活動の推進						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	美術館施設の維持管理及び展示環境の整備
------	---------------------

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	美術館敷地、施設設備、収蔵作品に関して、施設の維持管理をと おして快適な環境を整備し、市民及び市外からの来館者が文化・ 芸術に触れる機会の充実を図る。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		不満及び要望・希望件数／来館者数	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

（3）目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	・施設設備の維持管理にかかる消耗品の購入 ・所蔵作品盗難保険・受託者賠償責任保険への加入 ・美術館ボランティアに対する学習会の実施 ・受付・清掃・保守・警備等年間業務委託	活動指標	単位	R3	R4	R5
		業務委託件数	件	12	12	13
		修繕件数	件	3	2	6
		開館日数	日	198	229	230
		事業費計	千円	28,491	21,481	22,070
		一般財源	千円	15,162	12,885	15,088
		特定財源（国・県・他）	千円	13,329	8,596	6,982
		（うち受益者負担）	千円	1,989	2,204	1,773

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	十分な施設の維持管理をとおして快適な環境を整備し、文化・芸術に触れる機会の充実を図れた。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		不満及び要望・希望件数／来館者数	%	0.1	0.1	0.1	値が小さいほど良い	効果は変わらない

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）		費用が増加した	※ 1 0 万円以上の増減により判断	効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	1指標				
	効果が下がった指標数	0指標				
	指標全体	効果は変わらない		費用は下がった		
				費用の増減無し		
				費用が増加した	○	

4. 次年度に向けた検討

（1）令和５年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

来館者からは、静かで落ち着いた環境でよいという意見が多く聞かれる。 植栽や芝・池の美観維持のため努力されたいという意見も寄せられている。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和６年度及び令和７年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
	限られた予算と人で事業を実施しており、現状を維持する。

事業名	文化会館リニューアル事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	1-⑤	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当あり	コンパクトシティ	該当あり	スマートシティ	該当あり

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	期間限定複数年度
	課	文化推進課		文化会館リニューアル事業		款	2	新規or継続	継続事業
	係	文化推進係				項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	231	名称	根拠法令、条例等		目	18	義務or任意	任意の事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業期間	開始年度	R1	実施方法	一部委託
	政策	3	歴史・文化を守り育てるまちづくり			終了年度	R8	事業分類	施設等整備事業
	施策	1	文化芸術活動の推進						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	文化会館は、昭和 5 4 年の建設から 4 0 年以上が経過し、老朽化が顕著である。 市民が安心安全に利用できる状態にするためには、多数の設備更新が欠かせないことから、P P P・P F I 等民間活力による改修及び運営を導入する。 民間事業者を選定するにあたり、アドバイザー 業務委託を結び、設計、工事、維持管理、運営を委託する事業者を公募し、令和9年4月にリニューアルオープンする。
------	---

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	市民が安全安心に文化会館を利用できるようにする。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		文化会館利用者数	人	165,360	165,390	165,420	0	0
		文化会館利用者の満足度	%	72.0	86.0	86.5	0	0

（3）目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	4月：募集要項等の公表 7月：第2回評価委員会 10月：第3回評価委員会（事業者プレゼンテーションの実施） 12月：基本契約及び設計施工一括契約の締結	活動指標	単位	R3	R4	R5
		評価委員会開催数	回	0	1	2
		事業費計	千円	6,871	18,008	10,653
		一般財源	千円	520	18,008	7,653
		特定財源（国・県・他）	千円	6,351		3,000
		（うち受益者負担）	千円			

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	コロナ禍があげたことや文化会館休館前のため、利用者が増加した。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		文化会館利用者数	人	57,026	103,573	155,994	値が大きいほど良い	効果が上がった
		文化会館利用者の満足度	%	85.2	86.8	84.1	値が大きいほど良い	効果が下がった

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）		費用は下がった	※ 1 0 万円以上の増減により判断	効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標		費用は下がった 費用の増減無し 費用が増加した	○	
	効果が下がった指標数	1指標				
	指標全体	効果は変わらない				

4. 次年度に向けた検討

（1）令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

令和 5 年度は契約締結することが最重要課題であった。 次年度以降も令和 8 年 1 2 月竣工に向けて、遅滞なく大規模改修事業が進むよう事業者との調整を図る。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
	現状の計画通り、事業が進行するよう、事業者やコンサル、建築住宅課と進捗状況を確認する。